

2021 年度

事業報告書

公益財団法人似鳥文化財団

1. 公益目的事業

【事業の趣旨】

歴史書類、美術品、美術工芸品、絵画、古建造物及び文化関係資料(以下「美術品等」という)の収集、保管、修繕、展示の業務を実施することにより、文化、芸術、伝統等の発展や継承に寄与するとともに、国内・海外の人々に対する文化、芸術及び歴史に関する理解の増進に貢献することを目的とする。

この理念に基づき、収蔵作品の調査研究を行い、常設展示に加え収蔵作品による企画展3回とトピック展7回を開催。収蔵作品についてホームページなどにより紹介したほか、館外の教育活動への協力を行った。また、歴史的建造物及び収蔵作品の維持管理につとめた。

【施設の概要】

小樽芸術村は、似鳥美術館、ステンドグラス美術館、旧三井銀行小樽支店の3施設から構成される。似鳥美術館は、旧北海道拓殖銀行小樽支店(小樽市指定歴史的建造物)を活用した展示施設で、地上4階地下1階。ステンドグラス美術館は、旧高橋倉庫と旧荒田商会(いずれも小樽市指定歴史的建造物)の2階建ての2棟からなり、旧高橋倉庫は展示施設、旧荒田商会は受付やミュージアムショップなどとして使用している。旧三井銀行小樽支店は、地上2階地下1階と1階建ての付属棟からなる。これら3施設に囲まれた位置には、職員用駐車場と中庭があり、ロールスロイスを格納する車庫1件と彫刻作品3点が設置されている。中庭は、小樽市内中支部では希少な緑地であり、近隣住民や観光客、遠足の子もたちの憩いの場となっている。

なお、2021年11月19日(金)に開催された国の文化審議会において、旧三井銀行小樽支店を重要文化財に指定するよう文部科学大臣へ答申があり、翌年2月9日発行の官報で、重要文化財指定が告示された。当時欧米で流行した様式を洗練された意匠で取り入れている点や、小樽が金融集積地となる契機をつくり歴史的に重要な役割を果たした点などが評価されたものである。

【事業の概要】

ア. 美術品等の収集、保管、修繕、展示

(1) 美術品等の収集

① 美術品等の購入

本年度の購入はなかった

② 美術品等の寄贈受入

本年度の寄贈はなかった

③ 美術品等の寄託受入

本年度は、1,588点(組)の美術品等の寄託を受けた。

(2) 保管・修繕

ステンドグラス美術館では、展示中のステンドグラスの状態を随時点検し、光漏れ箇所のパテ詰め等のメンテナンスを行った。また未展示のパネル86枚について専門家による状態点検を行い、うち31枚の修復を行った。

似鳥美術館では、以下の美術品の修繕等を実施した。

横山大観《龍》	1点	有限会社垣内額装
小磯良平《アメリカ博》ほか素描、版画等マッピング	24点	石井ガクブチ店

(3) 展示

① 常設展示

ステンドグラス美術館では、ステンドグラス 98 点のほか、工程を示すパネルや道具などを常設展示している。

旧三井銀行小樽支店は、重要文化財に指定を受けて、屋外には重要文化財指定を告知するバナーを、館内には指定理由を解説するパネルの設置を行った。

似鳥美術館では、新収蔵作品の収蔵時や季節毎に数点ずつ作品の入れ替えを行った。2 階では、収蔵品による小規模なテーマ展示「トピック展示」を 7 回開催した。

3 館の開館時間は、5 月から 10 月は、午前 9 時 30 分から午後 5 時まで、11 月から 4 月は、午前 10 時から午後 4 時までとし、11 月から 4 月の毎週水曜日と年末年始を除く毎日開館した。ただし、旧三井銀行は、10 月 28 日～11 月 1 日の 4 日間、貸館のため臨時休館した。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、5 月 17 日～10 月 31 日まで、午前 10 時から午後 4 時までに時間を短縮して開館した。

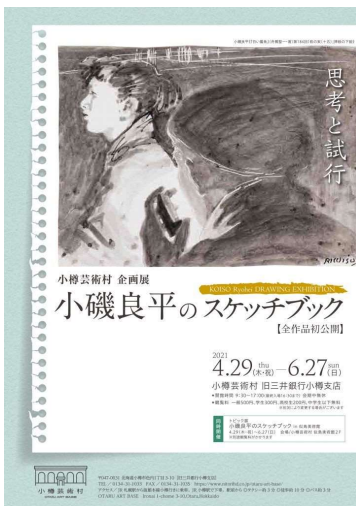
入館料は、原則として 3 館共通券が一般 2,000 円、学生 1,500 円、高校生 1,000 円とした。単館券は、似鳥美術館が、一般 1,500 円、学生 1,000 円、高校生 700 円とした。ステンドグラス美術館は、一般 700 円、学生 500 円、高校生 400 円とした。旧三井銀行小樽支店は、一般 500 円、学生 300 円、高校生 200 円とした。いずれの場合も、中学生以下および障がい者手帳の提示者と同伴 1 名は無料とした。

2021 年度は、開館日数計 335 日間に、来館者 101,647 名(うち有料入館者 59,569 名)を迎えた。

② 企画展

旧三井銀行小樽支店附属家では、企画展を 3 回開催した。

- ・ 「小磯良平のスケッチブック」
2021 年 4 月 29 日(木・祝)～6 月 27 日(日) 展示日数 60 日間
入館者 635 名(有料 619 名)
- ・ 「歌川広重 名所江戸百景」
2021 年 6 月 30 日(水)～8 月 22 日(日) 展示日数 55 日間
入館者 2,387 名(有料 1,835 名)
- ・ 「斎藤清 版画展」
2021 年 8 月 25 日(水)～10 月 11 日(月) 展示日数 39 日間
入館者 1,208 名(有料 975 名)



旧三井銀行小樽支店本館では、下記のミニ企画展を開催した。

- ・ 「小樽市総合博物館コレクション 石狩 中嶋商店の引札」

2021年12月25日(土)～2022年1月30日(日) 展示日数28日間

入館者:1,547名

※ 協力:小樽市総合博物館

似鳥美術館では、2020年12月より2階展示室の一角で季節や企画展に連動するテーマを設けて開催する「トピック展示」を開始、下記の7回開催した。

「葛飾北斎特集」

2021年3月4日(木)～4月27日(火) 展示日数24日(4月1日からの開館日数) 入館者 1,746名(4月1日からの入館者数)

「小磯良平のスケッチブック」(旧三井銀行小樽支店で開催中の企画展と連動)

2021年4月29日(木・祝)～6月27日(日) 展示日数60日間 入館者2,960名

「山下清特集」

2021年6月28日(月)～8月22日(日) 展示日数56日間 入館者6,996名

「棟方志功特集」(旧三井銀行小樽支店で開催中の企画展と連動)

2021年8月23日(月)～11月3日(水・祝) 展示日数73日間 入館者9,167名

「ミュシャ特集」

2021年11月5日(金)～12月21日(火) 展示日数41日間 入館者5,756名

「福よ来い！ おめでたいかたち」

2021年12月23日(木)～2022年2月15日(火) 展示日数44日間 入館者2,794名

「片岡球子特集」

2022年2月17日～4月19日(火) 展示日数37日間(3月31日までの開館日数) 入館者3,681名(3月31日までの入館者数)

企画展及びトピック展は、すべて収蔵作品により構成した。いずれの展示も、当館学芸部が企画し、担当学芸員が中心となり、作品の選定、運搬、会場構成、展示を行い、出品目録を配布。展示作品には豊富な解説を付し、来館者が理解しやすく、楽しめる展示とすることに努めた。

(4) ミュージアムショップ

各館に設置したミュージアムショップでは、当館の施設、収蔵作品、北海道及び小樽に関連した各種グッズや書籍を取り揃え、来館者のニーズに合った商品の販売活動を展開し、来館者の満足度向上につながるよう努めた。また、地域で制作活動を行うすぐれた作家の作品を展示販売することで、地域作家の育成の場として貢献した。さらに、企画展に合わせて、出品作品をもとにオリジナルポストカードを企画、製作して販売したほか、受託商品を加えてバリエーション豊かな商品構成とし、好評を得た。当館の見どころのひとつであるステンドグラスをもとにデザイン性や適正な価格を考慮したオリジナルグッズを企画、制作して販売した。このほか、銀鱗荘やニトリ果樹園に商品の販売を委託した。

イ. 美術品等の調査研究

(1) 調査・研究

歴史的建造物や関連資料と、収蔵品を中心とした美術品等の調査・研究を行い、その成果を展示に反映させた。

(2) データベース

2020年9月からワセダシステムの運用が開始され、データの入力、更新、デジタル画像の登録などを行った。9月から、文化庁の補助事業の一環でアルバイトを2名雇用し、画像の加工と登録、作品解説の更新等を行い、12月末からは、芸術村のウェブサイト上でデータベースの一部を公開した。

(3) 研究資料の整備

上記の調査・研究に必要な研究図書や研究資料の購入、収集、整理を行った。

- ① 美術館・博物館の刊行物など50冊を受贈した
- ② 展覧会の開催や収蔵作品の研究のため19冊の図書を購入した

(4) 学術プロジェクトへの参加

- ・ 展覧会図録に、下記のとおり、当館学芸員が研究成果を発表した
金澤 聡美 「小磯良平:連載小説の挿絵をめぐって—下絵からみえてくるもの—」 展覧会図録「小説挿絵の魅力—文芸作品に伴走して」、北海道立文学館
- ・ 北海道立文学館の要請により、下記のとおり、当館学芸員が講演を行った
金澤 聡美 演題「小磯良平の小説挿絵の魅力—小樽芸術村収蔵の下絵を中心に—」

(5) 美術品等の閲覧

所蔵美術品等の閲覧申請を受け、以下2件の研究に協力した。

- ・ 2021年10月6日 室蘭工業大学(1名) 旧北海道拓殖銀行小樽支店改修図面
- ・ 2022年1月10日 美術史家(2名) 《正写相生源氏》ほか全50点

ウ. 研究会等の開催

(1) 講演会、研究会の開催

展覧会に関連して開催を予定していた当館学芸員による講座は新型コロナウイルス感染症拡大のため多くは中止としたが、感染状況が落ち着いていた下記の1回のみ実施した。

- ・ 2021年7月13日(火) 14:00～ 名所江戸百景展関連企画「サロントーク」(会場:旧荒田商会 2F)
講師:山田 菜穂 参加者:4名

また、文化庁と一般社団法人アーツアライブの主催事業に協力し、下記のとおり講演会を開催した。

- ・ 2022年1月26日(水)13:30～ 「アート×認知症×美術館 ARTRIP の事例より」(会場:似鳥美術館4F)
講師:林容子(一般社団法人ArtsAlive 代表理事) 参加者:15名

(2) インターネットによる広報

小樽芸術村の概要や、展覧会、各種講座などの情報発信を行う当館ウェブサイト(<https://www.nitorihd.co.jp/otaru-art-base/>)は、日本語、英語、中国語、韓国語をそれぞれPC、携帯端末の双方で適正に閲覧できるかたちで運営している。2021年度は、12月中旬から3月下旬までシステムの不具合のため正常に計測ができなかったが、年間のページビュー数(以下PV数;Webサイト内のあるページへのア

アクセスがどの程度あったかを測る指標。ユーザーがブラウザ上で Web ページを表示するごとに PV 数は 1 つ (カウント) は 410,824 (2020 年度は 356,989) PV 数、ユーザー数は 95,366 (2020 年度は 86,020) 名であった。ユーザーのうち約 97% が日本国内からアクセスしており、約 79% のユーザーが、スマートフォンまたはタブレット端末で閲覧している。

テレビ東京系列で放映中の人気番組「開運！なんでも鑑定団」の小樽芸術村が特集された特番が再放送された 8 月 15 日には、9,801 PV 数を記録した。初回放送時の 17,840 PV 数には及ばないが、その後も 2 週間程度 PV 数の多い状況が続き、番組の影響の大きさがうかがえる。

このほか、当館ウェブサイトのお知らせ欄を活用して次の通り連載を行った。

- ・ 「今週の 1 点」 原則として、年末年始を除く毎週土曜日に連載。似鳥美術館および企画展の作品解説を中心として、学芸員が執筆、更新作業を実施している。次年度も継続予定である。

(3) プレスリリース

旧三井銀行小樽支店の重要文化財指定や、展覧会の情報を告知する各種媒体向けのプレスリリースを制作・発信し、各種媒体への掲載やテレビ番組での放送を促進した。

(4) ポスター・チラシ、施設案内パンフレット

各館内および掲示板等に展覧会ポスターを掲示し、館内に次回展覧会の告知のチラシと美術館の利用案内パンフレットを常備し、美術館及び展覧会の認知度アップに努めた。館外においては、近隣の観光施設や文化施設、交通機関や公共施設等に展覧会のポスターやチラシを配送するとともに、効果の見込める組織への情報提供を行った。

(5) 内覧会

コロナウイルス感染症拡大防止のため、内覧会は実施しなかった。

(6) 他美術館との協力

- ・ 北海道美術館協会への加盟、北海道教育委員会が推進する「アートギャラリー北海道」への参加などにより、美術館の普及や北海道観光の活性化に努めた。
- ・ 地域の博物館・美術館と情報交換や資料の貸借などを行い、地域における文化活動の活性化に努めた。8 月 25 日～10 月 11 日に開催した「斎藤清版画展」の開催時には、市立小樽美術館においても、市立小樽美術館所蔵の斎藤清作品の展示と入館料の相互割引を行い、2 館を巡回する動機づけとした。

(7) 地域との連携

- ・ 連携協定を結ぶ小樽市、北海道立近代美術館、公益財団法人札幌市芸術文化財団、一般社団法人札幌観光協会、一般社団法人小樽観光協会、余市町、仁木町との情報交換や観光プランの検討、広報への相互協力などを行った。
- ・ 地域の小中学生の見学の際には、少人数の場合のみ質問への対応などを実施したほか、ワークシートのデータの提供を行うなど、子どもたちの学習への支援を行った。



- ・ 2020 年度に引き続き、地域のスポーツ教室 SAFY と連携し、当館学芸員による未就学児を対象とした鑑賞プログラムを実施した(写真左)
2021 年 8 月 17 日(火)、「旧三井銀行小樽支店たんけん隊」(会場: 旧三井銀行小樽支店および中庭)
ファシリテーター 磯崎 亜矢子 参加者:親子 13 組 33 名

(8) 有料広告

下記の有料広告を通年で行った。

- ・ JR 新千歳空港コルトン
- ・ JR 札幌駅コンコース内アート広告
- ・ JR 小樽駅 ナビタ
- ・

(9) 小樽芸術村友の会

「小樽芸術村友の会」は、固定客層の獲得を目的として、2016 年の開館当初に開始した会員組織で、2021 年度末の会員数は 1,149(2020 年度は 1,168)名である。常設展の入館料(特別展やイベントなどは対象外)および年間パスポートを 20%割引で購入できるほか、各種ご案内の送付を行っている。

(10) 美術品の館外貸出

以下の展覧会に所蔵美術品の貸出しを行った。

- ・ 特別展「小説挿絵の魅力—文芸作品に伴走して」北海道立文学館
会期:10 月 30 日(土)~12 月 19 日(日)
小磯良平「白い魔魚」挿絵の下絵 10 組 14 点
小磯良平「古都」の挿絵の下絵 8 組 11 点
小磯良平「少女」油彩画 1 点 計 26 点

(11) 画像の貸出

本年度は、5 件の申請を受け、10 点の画像を館外の刊行物等に提供した。

(12) 施設の貸与

以下のイベントに施設を貸与し、催事への協力を行った。

合計 42 件 1,056 名 (2020 年度は 7 件 188 名)

年月日	施設名	用途	団体名	利用人数	
2021 年	5 月 4 日	ステンドグラス美術館	フォト	ラヴィファクトリー	10
	5 月 20 日	旧三井銀行小樽支店	フォト	ココスタイルウェディング	10
	6 月 6 日	ステンドグラス美術館	挙式	ココスタイルウェディング	10
	6 月 14 日	中庭	フォト	ココスタイルウェディング	10
	6 月 15 日	旧三井銀行小樽支店	フォト	ココスタイルウェディング	10

	6月20日	旧三井銀行小樽支店	講演会	小樽商科大学	30
	7月4日	ステンドグラス美術館	フォト	スタジオフォトス	4
	7月5日	ステンドグラス美術館	フォト	スタジオフォトス	4
	7月9日	ステンドグラス美術館	挙式	小さな結婚式	10
	8月7日	荒田・ステンド・中庭	挙式	ココスタイルウェディング	50
	7月15日	ステンドグラス美術館	挙式	小さな結婚式	6
	7月25日	ステンドグラス美術館	挙式	小さな結婚式	6
	7月28日	ステンド・中庭	フォト	GDHD	12
	7月29日	ステンドグラス美術館	フォト	小さな結婚式	4
	8月7日	中庭	フォト	ココスタイルウェディング	42
	9月6日	ステンドグラス美術館	フォト	小さな結婚式	8
	9月21日	ステンドグラス美術館	挙式	小さな結婚式	4
	9月29日	ステンドグラス美術館	フォト	小さな結婚式	10
	10月2日	ステンドグラス美術館	挙式	ココスタイルウェディング	22
	10月3日	旧三井銀行小樽支店	フォト	ココスタイルウェディング	17
	10月4日	中庭	フォト	ココスタイルウェディング	7
	10月9日	ステンドグラス美術館	挙式	ココスタイルウェディング	38
	10月17日	ステンドグラス美術館	挙式	ココスタイルウェディング	59
	10月19日	ステンドグラス美術館	フォト	BiBi	11
	10月19日	旧三井銀行小樽支店	フォト	ココスタイルウェディング	7
	10月23日	ステンドグラス美術館	フォト	株式会社 GFA	7
	10月28日	旧三井銀行小樽支店	展示会	SUN デザイン	58
	10月29日	旧三井銀行小樽支店	展示会	SUN デザイン	63
	10月30日	旧三井銀行小樽支店	展示会	SUN デザイン	198
	10月31日	旧三井銀行小樽支店	展示会	SUN デザイン	209
	11月12日	ステンドグラス美術館	挙式	小さな結婚式	7
	11月14日	ステンドグラス美術館	フォト	小さな結婚式	23
	11月14日	ステンドグラス美術館	フォト	スタジオフォトス	3
	11月18日	ステンドグラス美術館	フォト	個人予約	3
	11月19日	ステンドグラス美術館	フォト	小さな結婚式	4
2022年	1月14日	旧三井銀行小樽支店	フォト	ココスタイルウェディング	10
	1月15日	似鳥・三井	フォト	ココスタイルウェディング	7
	1月16日	ステンドグラス美術館	フォト	ココスタイルウェディング	11
	1月17日	ステンドグラス美術館	フォト	ノーブルスタジオジャパン	7
	1月30日	ステンドグラス美術館	タレント撮影	ワークスロケーションクルー	4
	2月13日	ステンドグラス美術館	フォト	小さな結婚式	4
	2月19日	ステンドグラス美術館	挙式	ココスタイルウェディング	37

2. 処務の概要

ア. 役員に関する事項

2022年3月31日時点の役員

2022年3月31日時点の本財団役員は以下の通りになります。

役職	氏名	
代表理事	似鳥 昭雄	株式会社ニトリホールディングス 代表取締役会長 株式会社ニトリ 代表取締役会長
副理事長 業務執行理事	似鳥 靖季	公益財団法人似鳥国際奨学財団 理事
理事	遠山 葉子	慶應義塾大学アートセンター 教授・キュレーター
理事	田中 健	那須オルゴール美術館 館長 ケンズインターナショナル株式会社 取締役会長
理事	宗本 順三	(株)ラウムアソシエイツ一級建築士事務所 代表取締役
理事	志田 政人	アトリエ・ルブラン 掛川ステンドグラス美術館 顧問
評議員	安藤 隆春	株式会社ニトリホールディングス 社外取締役
評議員	森 真澄	株式会社ニトリ 顧問
評議員	遠藤 結蔵	(株)ゲオホールディングス 代表取締役社長執行役員
監事	薄井 保男	薄井公認会計士事務所 公認会計士・税理士

イ. 会議に関する事項

① 理事会

2021年5月24日	第1回理事会	書面決議
2021年6月8日	第2回理事会	東京
2021年7月30日	第3回理事会	書面決議
2022年1月7日	第4回理事会	書面決議
2022年3月15日	第5回理事会	東京

② 評議員会

2021年6月8日	第1回評議員会	東京
-----------	---------	----

事業報告の附属明細書

*2021年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人法に関する法律施行規則」第34条第3項に規程する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成を省略する。

<事業報告書>

事業の名称		小樽芸術村文化観光拠点施設機能強化事業											
事業の趣旨		<p>公益財団法人似鳥文化財団の運営になる文化資源保存活用施設、①似鳥美術館、②ステンドグラス美術館、③旧三井銀行小樽支店を擁する「小樽芸術村」を文化観光拠点施設とし、小樽市及び一般社団法人小樽観光協会、小樽堺町通り商店街振興組合、一般社団法人ニセコプロモーションボードと連携し、札幌市とニセコ地域の中間に位置する地の利を生かしつつ、周遊型の「文化観光」を推進する。</p> <p>小樽市は、小樽運河や北海道最古の鉄道、銀行や倉庫群といった歴史的建築などの観光資源に恵まれている。クルーズ船の寄港をはじめ、インバウンドが観光に占める比率が高い地域である。将来的にも小樽・倶知安町（ニセコ地域）間の高速道路開通（2027年度頃）、北海道新幹線の札幌延伸（ニセコ回りルートで2030年度末開業）が予定されており、石狩・後志地方にまたがる周遊を促進する環境も整う。小樽とニセコ地域間の周遊ルートの開拓は、近年、国際リゾート地として目覚ましい発展を続けるニセコへの外国人来訪客を小樽へと取り込み、文化振興と同時に消費拡大へと繋げる試みとなる。</p> <p>また、東京オリンピックのマラソンや競歩、サッカー3試合の開催（2021年夏）、さらに札幌オリンピック（2030年開催地立候補予定）も控え、観光振興への期待が高まっている。現在はコロナ禍で観光客数が落ち込んであるが、将来的には伸びが期待できる観光客が各施設の保有する文化資源の魅力に触れ、地域文化への理解を深めることができるよう、施設設備の機能強化や解説の多言語化等を進め、最新の情報通信技術を活用して鑑賞環境の充実を図り、施設の魅力を高めて利用の増進に繋げる取組を行う。</p>											
各事業の内容（具体的に記入すること）													
事業番号	1-①	事業名	文化資源に関する解説の強化事業										
実施事業の内容		<p>事業期間：令和3年9月（データベース入力作業開始）～4年1月（データベース入力作業完了・本格稼働）</p> <p>事業実施内容：小樽芸術村の3施設が所蔵する文化資源である美術品をデータベース化し、すでに導入済みの基本データや関連情報、解説を充実させて、文化資源の魅力を伝え、理解を進めるための基盤を整える。令和3年度は、計画では日本画及び古美術分野の作品解説原稿を作成し、それらをデータベースに入力する作業に取り組む予定であったが、有期雇用の学芸員の専門によりステンドグラス作品の解説を先行して作成・公開することとなった。</p> <p>次年度以降は近代日本画、洋画、ガラス工芸分野へと範囲を広げ、2024年には蓄積したデータベースを基にデジタルアーカイブ化することで所蔵美術品を多くの方に興味を持ってもらい、来館動機の一助としていく。</p>											
事業の成果・効果		<p>令和3年より有期雇用の学芸員補を雇用し、解説の執筆とデータベースの入力を進め、12月28日よりデータベースの公開を開始。2月半ばまでに188件のデータを公開した。</p> <p>データの公開については、当館ホームページの他、株式会社トリのポータルサイトで告知を行ったほか、北海道が運営する「北海道デジタルアートミュージアム」にリンクさせたのみであったが、目標よりも多くのPV数を獲得することができた。このことから、小樽芸術村が収蔵する文化資源への関心の高さを伺うことができ、今後來館動機の一助となることが期待できる。</p> <p>また、閲覧数が見られるようになったことで、どのような作品や作家が閲覧者の関心を集めているのかを知ることができた。今後の展示テーマの策定等に反映させていきたい。</p>											
評価指標	データベース利用者数(閲覧数)												
目標値	(現状値)	令和	2	年度	0	PV (ページ ビュー 数)	⇒	(目標値)	令和	3	年度	3,600(1～3月)	PV (ページ ビュー 数)
実績値	(現状値)	令和	2	年度	0	PV (ページ ビュー 数)	⇒	(実績値)	令和	3	年度	4,267(12月 28日～3月20 日)	PV (ページ ビュー 数)

事業番号	5-①	事業名	所蔵の文化資源を活用したニセコでのプロモーション展事業		
実施事業の内容	<p>事業期間：令和3年7月(作品選定開始)～12月(カタログデータ作成)、1月以降(カタログでの実験販売)</p> <p>事業実施内容：小樽芸術村で所蔵展示する美術品等の文化資源を、とりわけ国内外の観光客が多い道内での隣接地区であるニセコ地区(ニセコにある3エリアのホテル内のロビー・エントランスホール等の共有部で誰でも鑑賞できる場所)等で展示し、道内観光客も含めて実際の訪問に繋げるプロモーション活動を展開する。2023年度から実施のプロモーションでは展示に加え、チラシや入館割引券の配布、小樽までのアクセス紹介、小樽観光紹介を行うことで小樽への興味を高め、小樽への移動機会を作る。ニセコ地域の欧米豪の観光客を中心に関心の高い浮世絵やアイヌ絵等の美術作品を展示することで、ネットや紙媒体の広報では得られないインパクトのある広報活動を行う。</p> <p>浮世絵は劣化が激しいことから、所蔵作品の高精細データを制作し、高精細レプリカと4Kデジタル絵画を制作することで文化財保護も同時に行う。</p> <p>また、レプリカ絵画を増刷し、希望者への販売(販売用制作は自主財源にて実施)を行うことで美術品の多角的波及と文化資源の磨き上げの再投資をする。</p> <p>このデータを活用し、将来的にはサテライトミュージアム・全国巡回展・オンライン配信・裸眼VR・プロジェクションマッピング等に活かす。</p> <p>初年度はまず重要度の高い浮世絵50枚の高精細データ制作とレプリカの制作を行い、カタログでの実験販売を実施し、観光客の動向を探る。随時、(株)ニトリより浮世絵を借り受けていることから毎年50枚として優先度を判断し行なう。本年度はコロナの影響で外国人来客数がほとんどなく、効果は薄いと思われるが、来年度以降に通常の生活が徐々に戻ってくると効果が発揮される。また、浮世絵は日々劣化することから少しずつでも早くデータ化することが望まれ、計画的に実施する。</p> <p>・重要度の高い浮世絵50枚の選定、撮影、高精細データ制作、高精細レプリカの販売用カタログデータ作成、小樽芸術村でのカタログでの実験販売</p>				
事業の成果・効果	<p>葛飾北斎の代表作《富嶽三十六景 神奈川沖浪裏》や肉筆画《雲龍図》などのほか、喜多川歌麿や歌川広重など、芸術村が収蔵する貴重な浮世絵版画を中心に50作品をスキャンし、高精細データ、マスターレプリカを制作した。</p> <p>計画段階では、1月以降にレプリカ作品の実験販売を開始する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で物流が滞り、色校正も含めレプリカの印刷に用いる海外製の用紙が入手できないという不測の事態が発生し、納品が3月初旬となったため、年度内に販売開始にこぎつけることができなかった。これにより、外国人による購買点数の目標は達成することができなかった。レプリカの販売は、4月以降、準備が整い次第実施する。一方、外国人観光客の来訪客数は目標を達成することができた。</p> <p>高精細のデータを作成したことにより、モニタ上で作品を拡大して子細な観察をすることが可能となり、肉眼では気づきにくい表現や状態の変化が明らかになった。作成したデジタルデータは、文化資源の保存管理と研究、さらには来館者の鑑賞体験の充実に活用していきたい。</p>				
	外国人来訪客数				
目標値	(現状値) 令和 2 年度	453 (4～12月)	人	⇒	(目標値) 令和 3 年度 (外国人比約 3%)
実績値	(現状値) 令和 2 年度	620	人	⇒	(実績値) 令和 3 年度 (4/1～3/20)
評価指標	外国人の購買点数				
目標値	(現状値) 令和 2 年度	0	枚	⇒	(目標値) 令和 3 年度 5 枚
実績値	(現状値) 令和 2 年度	0	枚	⇒	(実績値) 令和 3 年度 0 枚
評価指標	レプリカ製作数				
目標値	(現状値) 令和 2 年度	0	枚	⇒	(目標値) 令和 3 年度 50 枚
実績値	(現状値) 令和 2 年度	0	枚	⇒	(実績値) 令和 3 年度 50 枚